

寺岡 清高(ナビゲーター)



早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学指揮科に学ぶ。97年、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院よりフランコ・フェラーラ大賞を授与され、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研鑽を重ねる。2000年、ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。これまでに数多くの国内オーケストラとともに、フェニーチェ歌劇場管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、ウィーン室内管、イギリス室内管を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演している。大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係が続けており、2011年4月から2019年3月まで、同楽団常任指揮者を務める。ウィーン在住。

岡本 伸一郎(ヴァイオリン)



東京藝術大学音楽学部を卒業後、ジュネーヴ音楽院にてソリスト・ディプロマ及び、オーケストラ・ディプロマを取得。その後スイスやフランスを中心に活動を続ける。2009年に帰国しオーケストラでの客演をはじめ、室内楽やソリストとして活動した後、2016年に大阪交響楽団アソシエイト・コンサートマスターに就任。関西圏をはじめ四国、福井等で定期的にソロ・リサイタルを開いており、今夏、今秋には結成10周年となるDUO OKAMOTOの記念リサイタルも開催し、好評を博した。国内外の音楽祭での出演も多く、ピエンス、ムーティエ、グラーツ、ケルン、台東、福山などに招かれている。ジュネーヴでは2008年に国連の式典でも演奏し、その様子は現地や日本の新聞等でも報道された。第12回宝塚ベガ音楽コンクール入賞、並びにすみれ賞受賞。

米川 さやか(ヴァイオリン)



東京芸術大学を卒業後、2009年ベルリン芸術大学を卒業。これまでにヴァイオリンを山岡みどり、山岡耕彦、玉井菜探、デヴィット・ノーラン、ヤン・トメシュの各氏に、室内楽をアルテミスカルテットに師事。2008年リゾナーレ室内楽音楽祭においてハイドン賞を受賞。同年ベルリン・Ibolyka-Gyarfas ヴァイオリンコンクールにて第2位を受賞し奨学金を得る。現代音楽の方面での活動も積極的に行っており、これまでに世界各国の作曲家に作品を委嘱し、初演を行ってきた。2009年より大阪交響楽団セカンドヴァイオリン首席奏者。また2018年には団内のメンバーと共に紫苑弦楽四重奏団を結成し、ハイドンを中心としたさまざまな作曲家を取り上げて演奏活動を行なっている。

早田 類(ヴィオラ)



東京藝術大学音楽学部卒業後、ヴィオラに転向。同大学同大学院音楽研究科在学中に渡欧。大学院在学中、PMF(Pacific Music Festival)のメンバーに選抜される。パリ地方国立高等音楽院第三課程終了後、ローザンヌ高等音楽院にてソリストディプロム取得。在学中、Max Jost財団より奨学金を授与される。ヴィオラをBruno PASQUIER、室内楽をPierre AMOYAL、Chantal Mathieu-Balavoine、ピアノとの室内楽をMarc PANTILLONに師事。2004年から10年間、スペイン・マドリド王立歌劇場(レアル劇場)管弦楽団にて副首席奏者を務める。2016年より、大阪交響楽団ヴィオラ首席奏者。2018年に大阪響のメンバーと紫苑弦楽四重奏団を結成し、活発に活動している。

増山 頌子(チェロ)



桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部卒業。同研究生3年次修了。第7回泉の森ジュニアチェロコンクール金賞。第55回鎌倉学生音楽コンクール教育委員会賞並びに野村光一賞。第12回日本演奏家コンクール第3位。第11回大阪国際音楽コンクール・コンチェルトオーディションEspoir賞。第67回全日本学生音楽コンクール東京大会大学の部入選。2014IMA音楽賞。第1回さくらプラザ弦楽オーディション優秀賞(最優秀賞なし)。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015特別賞ほか。武蔵野市民交響楽団と協奏曲を共演。PMF2015、サントリーチェンバーミュージックガーデン2015・2016、日本演奏連盟主催リサイタル・シリーズOSAKA34『増山頌子チェロ・リサイタル』、NHK-FM『リサイタル・パッション』など出演多数。チェロを5歳より始め毛利伯郎氏に師事。室内楽を原田幸一郎、東京クワルテットの各氏の指導を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。現在戸塚区民文化センター さくらプラザサポートアーティスト、大阪交響楽団チェロ副首席奏者。

河内 仁志(ピアノ)



兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。京都市立芸術大学音楽学部卒業。Ecole Normale musique de Parisにて研鑽を積む。第8回兵庫県学生ピアノコンクール県大会D部門(中学生の部)最優秀賞、兵庫県知事賞受賞。第55回全日本学生音楽コンクール大阪大会ピアノ部門高校の部第1位、全国大会出場。第75回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。併せて野村賞、井口賞、河合賞受賞。第12回モノーポリ国際ピアノコンクール(イタリア)第3位、聴衆賞受賞。大阪NHKホールにてN響メンバーと「新進演奏家の出会い“クラシック大好き!”」に出演。他にも東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、NHK交響楽団、四芸祭オーケストラ、京都市交響楽団、Orchestra Sinfonica della Provincia di Bari、飯森範親、北原幸夫、松尾葉子、増井信貴、佐藤俊太郎、Guiseppe La Malfa、井村誠貴各氏と共演。東京、兵庫、大阪、京都の各地でリサイタルを行う。2008年社会福祉法人神戸社会福祉協議会より感謝状を授与される。これまでに坂井千春、田隅靖子、坂本恵子、徳末悦子の各氏に師事。神戸市混声合唱団専属ピアニスト、兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学非常勤講師。